

「水引小学校のふるさとを学ぼう郷土調べ学習の取組」

1 学校名

薩摩川内市立水引小学校

2 学年・人数

5・6年生（計39人）

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

令和4年7月8日（金） オリエンテーション：ふるさとコミュニケーション科

令和4年11月8日（火） ふるさとを学ぼう合同調べ学習

令和4年11月～12月 発表資料作成

(2) 発表の日時・場所

令和4年12月10日（土） ふるさとを学ぼう発表会（リモート発表）

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

- ・ 久見崎軍港跡（ぐみざきぐんこうあと）
- ・ 戦没学童慰霊碑（せんぼつがくどういれいひ）

(2) 特徴

- ・ 久見崎軍港跡（ぐみざきぐんこうあと）
薩摩藩の軍港として数多くの軍艦（当時は帆船）を建造。慶長の役（豊臣秀吉の時代）の時には、ここから出港した。
久見崎には船大工（樗木家）がいて、一子相伝とする秘伝巻物の造船資料が発見され、国指定有形文化財として歴史資料館に保管されている。
- ・ 戦没学童慰霊碑（せんぼつがくどういれいひ）
昭和20年7月30日早朝7時過ぎ、夏休みにもかかわらず農業奉仕ということで学校に来ていた子供たちの前に、アメリカの戦闘機3機が飛来し、機銃掃射をおこなった。急いで竹林に逃げ込んだが7名が被弾したり燃え移った炎によって焼け死んでしまった。没50周年（平成6年）に現在の慰霊碑を建立した。

5 保存会や地域との連携の具体

オリエンテーションの際に、寄田・滄浪地区を見学し、地域にまつわる伝統・文化の概要、伝統を引き継ぐ地域の人々の思いについて説明をしていただいた。また、調べ学習の際には、現地で説明をしていただいたり、文書で質問の答えを送ってもらったりした。

6 活用の取組の工夫した点

小中一貫教育の中で、中学校1年生と合同で学習を進めた。5つの地域を3年間で学習できるように計画をしている。事前に地域の方々に質問内容などを伝え、例年よりも短時間で説明や調べ学習ができるようにした。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



調べ学習の様子



調べ学習の様子



戦没学童慰霊碑（滄浪小学校跡地）



ふるさとを学ぼう発表会の様子

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【児童】

- ・ 寄田コミュニティ協議会の会長や滄浪コミュニティ協議会の主事さんがわかりやすく説明してくださったので、昔のことを詳しく知ることができてよかった。
- ・ 今まで知らなかったことを知ることができてうれしかった。
- ・ 地域のことについて多くのことを知ったので勉強になった。

【教員】

- ・ 身近な場所にある歴史にふれることで、子供たちは地域についての理解を深めることができた。
- ・ 寄田・滄浪地域には史跡が多く残っており、また歴史上の人物の逸話や豊かな自然環境などがあり、興味深い場所であることを知った。